

委員からのご指摘事項

GDPに占める「生産・輸入品に課される税—補助金」
の割合の変化が経済前提に与える影響

GDPに占める「生産・輸入品に課される税－補助金」の割合が変化した場合の影響

- GDPに占める「生産・輸入品に課される税－補助金」の割合を機械的に1%だけ上昇させた場合に経済前提の結果への影響を確認したところ、実質賃金上昇率及び実質運用利回りともに、その差は0.1%未満となっており、その影響は限定的と考えられる。

<経済前提への影響>

GDPに占める「生産・輸入品に課される税－補助金」の割合を

8.4% (2020～2022年度実績)



9.4% (+1%) と変化させた場合

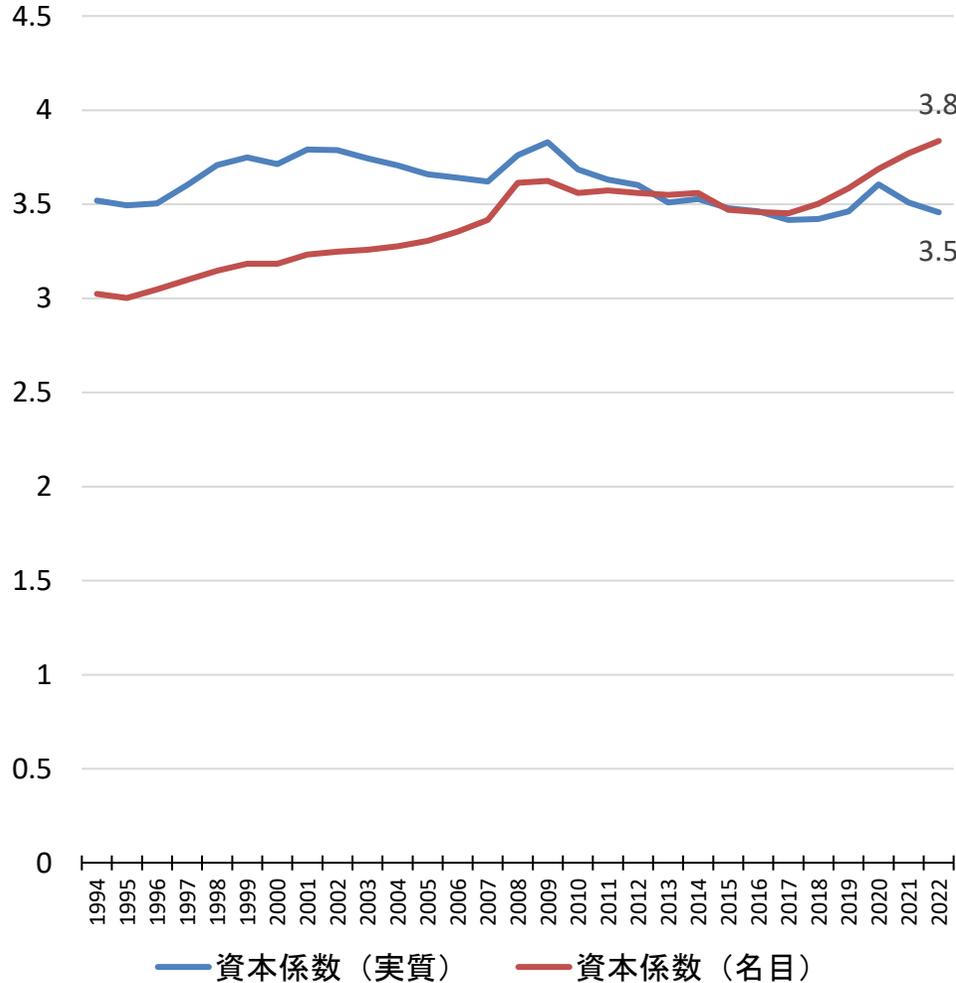
ケース	実質賃金上昇率	実質運用利回り
長期安定ケース	▲約0.01%	▲約0.05%
現状投影ケース	▲約0.01%	▲約0.04%

注：マクロ試算におけるシナリオは「長期安定ケース」及び「現状投影ケース」を前提として、経済前提への影響を試算している。

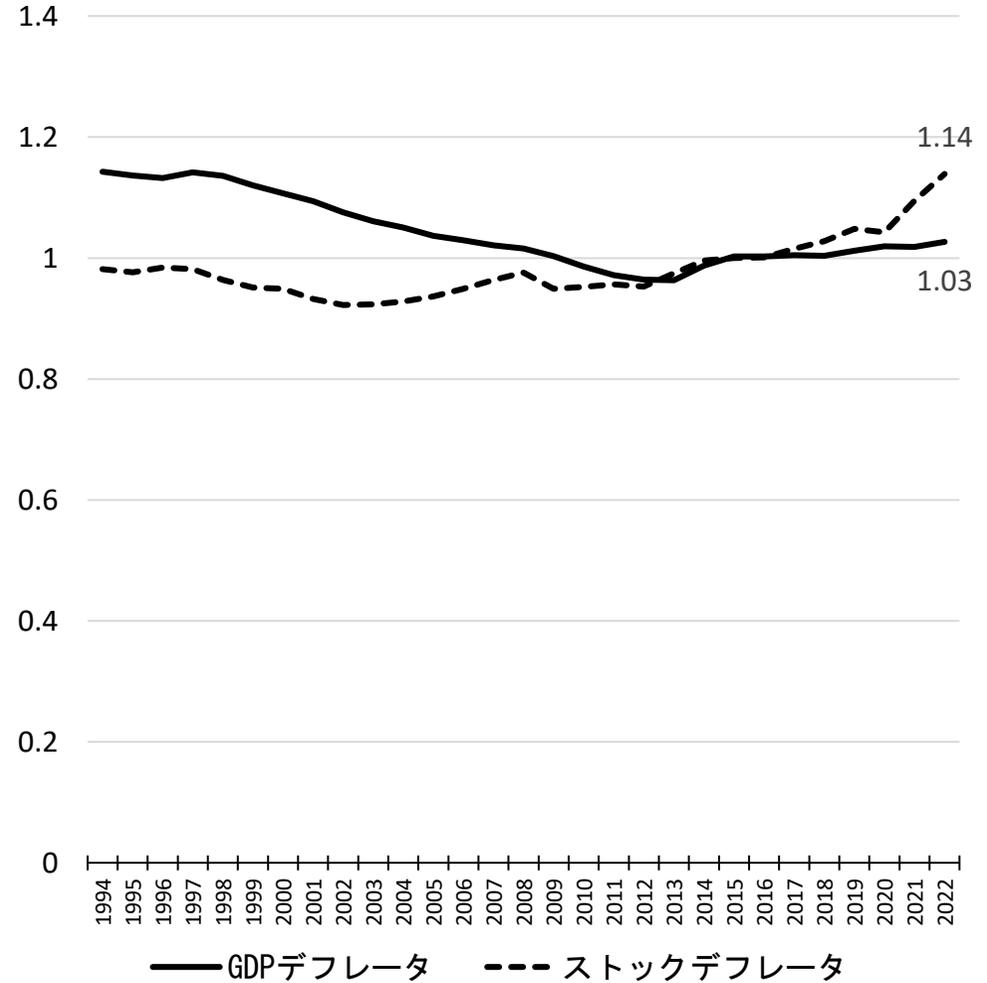
資本係数、総投資率及び利潤率について

資本係数(名目・実質比較)、デフレーター(GDP、ストック)

資本係数



デフレーター



(出所) 2022年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)

(注) 資本係数は「固定資産/GDP」により算出。また、各デフレーターは名目を実質で除して計算したもの。

資本係数(名目・実質比較)、デフレーター(GDP、ストック) 計数表

実質 暦年末/年度末	名目				計算							
	固定資産合計		GDP		資本係数	固定資産合計		GDP		資本係数	デフレーター	
	(単位：10億円)	対前年比	(単位：10億円)	対前年度比		(単位：10億円)	対前年比	(単位：10億円)	対前年度比		GDP	ストック
平成6 1994	1,576,891.9		447,936.9		3.52	1,548,183.0		511,958.8		3.02	1.143	0.982
7 1995	1,614,967.2	2.4%	462,177.3	3.2%	3.49	1,577,233.2	1.9%	525,299.5	2.6%	3.00	1.137	0.977
8 1996	1,667,699.4	3.3%	475,806.1	2.9%	3.50	1,641,327.4	4.1%	538,659.6	2.5%	3.05	1.132	0.984
9 1997	1,711,955.8	2.7%	475,217.3	▲0.1%	3.60	1,680,809.0	2.4%	542,508.0	0.7%	3.10	1.142	0.982
10 1998	1,745,217.9	1.9%	470,507.4	▲1.0%	3.71	1,682,371.4	0.1%	534,564.1	▲1.5%	3.15	1.136	0.964
11 1999	1,774,679.1	1.7%	473,320.1	0.6%	3.75	1,688,619.6	0.4%	530,298.6	▲0.8%	3.18	1.120	0.952
12 2000	1,803,404.0	1.6%	485,623.0	2.6%	3.71	1,711,405.7	1.3%	537,614.2	1.4%	3.18	1.107	0.949
13 2001	1,828,077.9	1.4%	482,113.5	▲0.7%	3.79	1,704,851.3	▲0.4%	527,410.5	▲1.9%	3.23	1.094	0.933
14 2002	1,843,243.7	0.8%	486,545.5	0.9%	3.79	1,700,072.6	▲0.3%	523,465.9	▲0.7%	3.25	1.076	0.922
15 2003	1,856,725.8	0.7%	495,922.8	1.9%	3.74	1,714,791.3	0.9%	526,219.9	0.5%	3.26	1.061	0.924
16 2004	1,869,642.2	0.7%	504,269.4	1.7%	3.71	1,735,435.2	1.2%	529,637.9	0.6%	3.28	1.050	0.928
17 2005	1,885,117.4	0.8%	515,134.1	2.2%	3.66	1,765,537.7	1.7%	534,106.2	0.8%	3.31	1.037	0.937
18 2006	1,899,502.2	0.8%	521,784.6	1.3%	3.64	1,802,516.2	2.1%	537,257.9	0.6%	3.36	1.030	0.949
19 2007	1,908,967.5	0.5%	527,271.6	1.1%	3.62	1,839,962.1	2.1%	538,485.5	0.2%	3.42	1.021	0.964
20 2008	1,911,305.9	0.1%	508,262.0	▲3.6%	3.76	1,865,407.1	1.4%	516,174.9	▲4.1%	3.61	1.016	0.976
21 2009	1,898,935.2	▲0.6%	495,875.6	▲2.4%	3.83	1,802,880.6	▲3.4%	497,364.2	▲3.6%	3.62	1.003	0.949
22 2010	1,886,622.8	▲0.6%	512,064.7	3.3%	3.68	1,797,126.3	▲0.3%	504,873.7	1.5%	3.56	0.986	0.953
23 2011	1,868,639.5	▲1.0%	514,686.7	0.5%	3.63	1,786,964.8	▲0.6%	500,046.2	▲1.0%	3.57	0.972	0.956
24 2012	1,865,378.8	▲0.2%	517,919.3	0.6%	3.60	1,777,730.4	▲0.5%	499,420.6	▲0.1%	3.56	0.964	0.953
25 2013	1,866,980.7	0.1%	532,072.3	2.7%	3.51	1,819,729.6	2.4%	512,677.5	2.7%	3.55	0.964	0.975
26 2014	1,870,693.1	0.2%	530,195.3	▲0.4%	3.53	1,863,443.8	2.4%	523,422.8	2.1%	3.56	0.987	0.996
27 2015	1,876,448.4	0.3%	539,413.5	1.7%	3.48	1,876,448.4	0.7%	540,740.8	3.3%	3.47	1.002	1.000
28 2016	1,881,904.2	0.3%	543,479.1	0.8%	3.46	1,884,217.7	0.4%	544,829.9	0.8%	3.46	1.002	1.001
29 2017	1,889,728.2	0.4%	553,173.5	1.8%	3.42	1,918,650.9	1.8%	555,712.5	2.0%	3.45	1.005	1.015
30 2018	1,897,426.0	0.4%	554,533.8	0.2%	3.42	1,949,844.2	1.6%	556,570.5	0.2%	3.50	1.004	1.028
令和元 2019	1,905,045.4	0.4%	550,160.8	▲0.8%	3.46	1,996,748.6	2.4%	556,845.4	0.0%	3.59	1.012	1.048
2 2020	1,906,639.7	0.1%	528,797.7	▲3.9%	3.61	1,987,743.7	▲0.5%	539,009.1	▲3.2%	3.69	1.019	1.043
3 2021	1,908,152.7	0.1%	543,649.3	2.8%	3.51	2,088,153.8	5.1%	553,642.3	2.7%	3.77	1.018	1.094
4 2022	1,907,864.5	▲0.0%	551,813.9	1.5%	3.46	2,173,651.0	4.1%	566,489.7	2.3%	3.84	1.027	1.139

(出所) 2022年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)

(注) 資本係数は「固定資産/GDP」により算出。また、各デフレーターは名目を実質で除して計算したもの。

総投資率 計数表

年度/四半期	GDP(10億円)	総固定資本形成(10億円)	総投資率	
2019	556,845.4	142,258.4	25.5%	2022年度国民経済計算 (2015年基準・2008SNA)
2020	539,009.1	136,814.5	25.4%	
2021	553,642.3	141,107.1	25.5%	
2022	566,489.7	147,968.6	26.1%	
2022/ 1- 3.	555,063.0	141,393.2	25.5%	四半期別GDP速報 (2023年10-12月期1次速報) 名目季節調整系列
4- 6.	559,769.1	144,348.2	25.8%	
7- 9.	557,236.0	147,583.8	26.5%	
10-12.	567,558.0	148,479.0	26.2%	
2023/ 1- 3.	580,433.8	150,881.9	26.0%	
4- 6.	594,975.1	151,721.7	25.5%	
7- 9.	594,624.8	151,774.8	25.5%	
10-12.	596,369.7	152,186.1	25.5%	

(出所) 2022年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)及び四半期別GDP速報(2023年10-12月期1次速報)名目季節調整系列

(注1) 総投資率は、「総固定資本形成/GDP」により算出したもの。

(注2) 2019~2022は年度ベース。2022/1-3.等は、名目季節調整系列の四半期ベースのもの

潜在成長率、全要素生産性上昇率、資本投入量、労働投入量 計数表

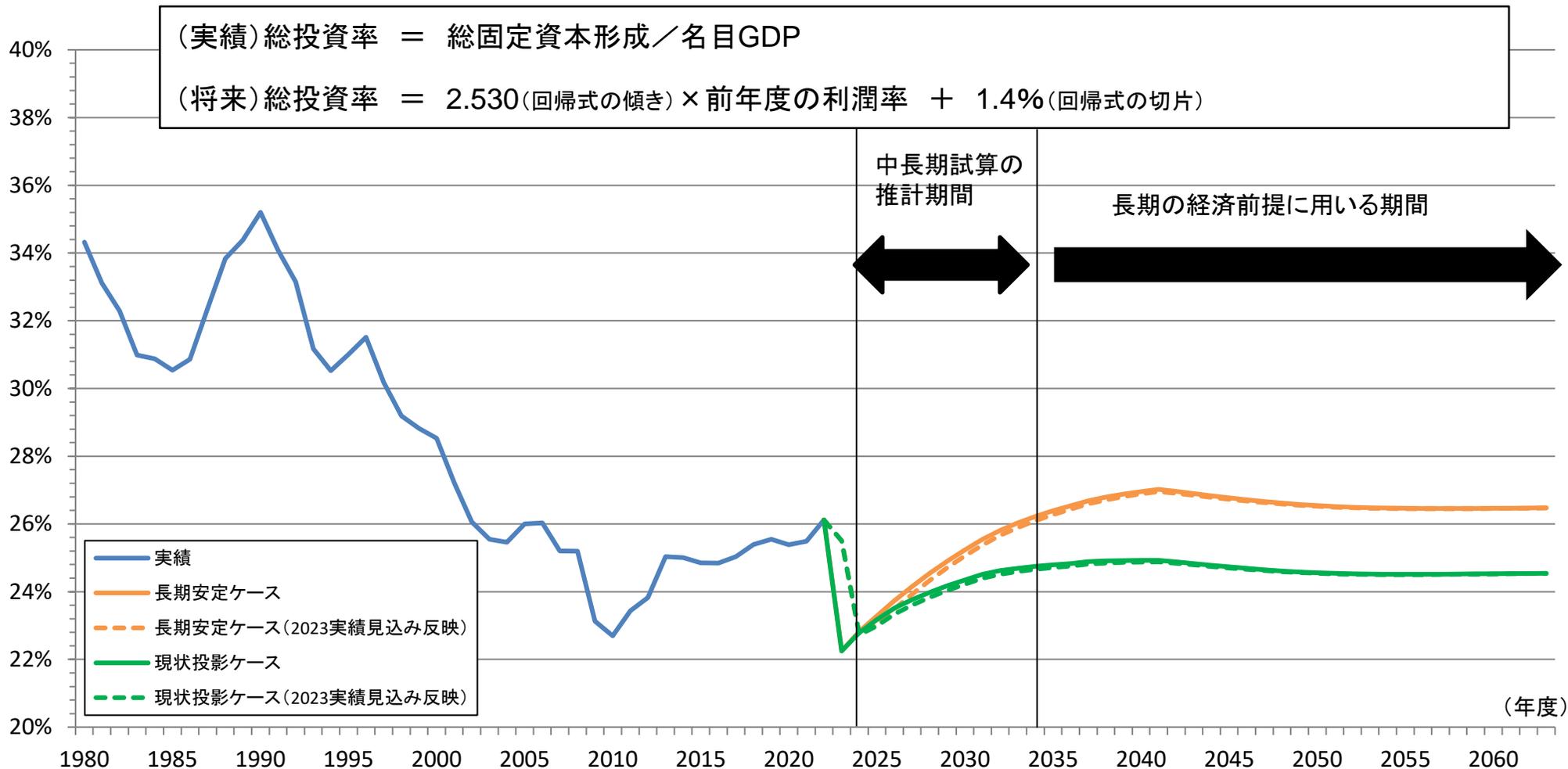
労働投入量

2023年10-12月期 四半期別GDP速報 (1次速報値)	(%、前年/前期比)	(％pt、潜在成長率に対する前年/前期比寄与度)				
	潜在成長率 Potential GDP Growth Rate	全要素生産性 Total Factor Productivity (TFP)	資本投入量 Capital Input	労働時間 Hours Worked	就業者数 Number of Employed	
2019	0.5	0.3	0.2	-0.6	0.6	年度
2020	0.3	0.5	0.2	-0.6	0.2	
2021	0.3	0.6	0.1	-0.5	0.1	
2022	0.5	0.7	0.1	-0.4	0.1	
2022 I (1-3月期)	0.4	0.7	0.1	-0.4	0.1	四半期
II (4-6月期)	0.5	0.7	0.1	-0.4	0.1	
III (7-9月期)	0.5	0.7	0.1	-0.4	0.1	
IV (10-12月期)	0.5	0.7	0.1	-0.4	0.1	
2023 I (1-3月期)	0.5	0.7	0.1	-0.4	0.1	
II (4-6月期)	0.6	0.7	0.1	-0.3	0.1	
III (7-9月期)	0.6	0.7	0.1	-0.3	0.1	
IV (10-12月期)	0.7	0.7	0.1	-0.3	0.1	

(出所) GDPギャップ、潜在成長率(2023年10-12月期四半期GDP速報)1次速報ベース

総投資率の推移

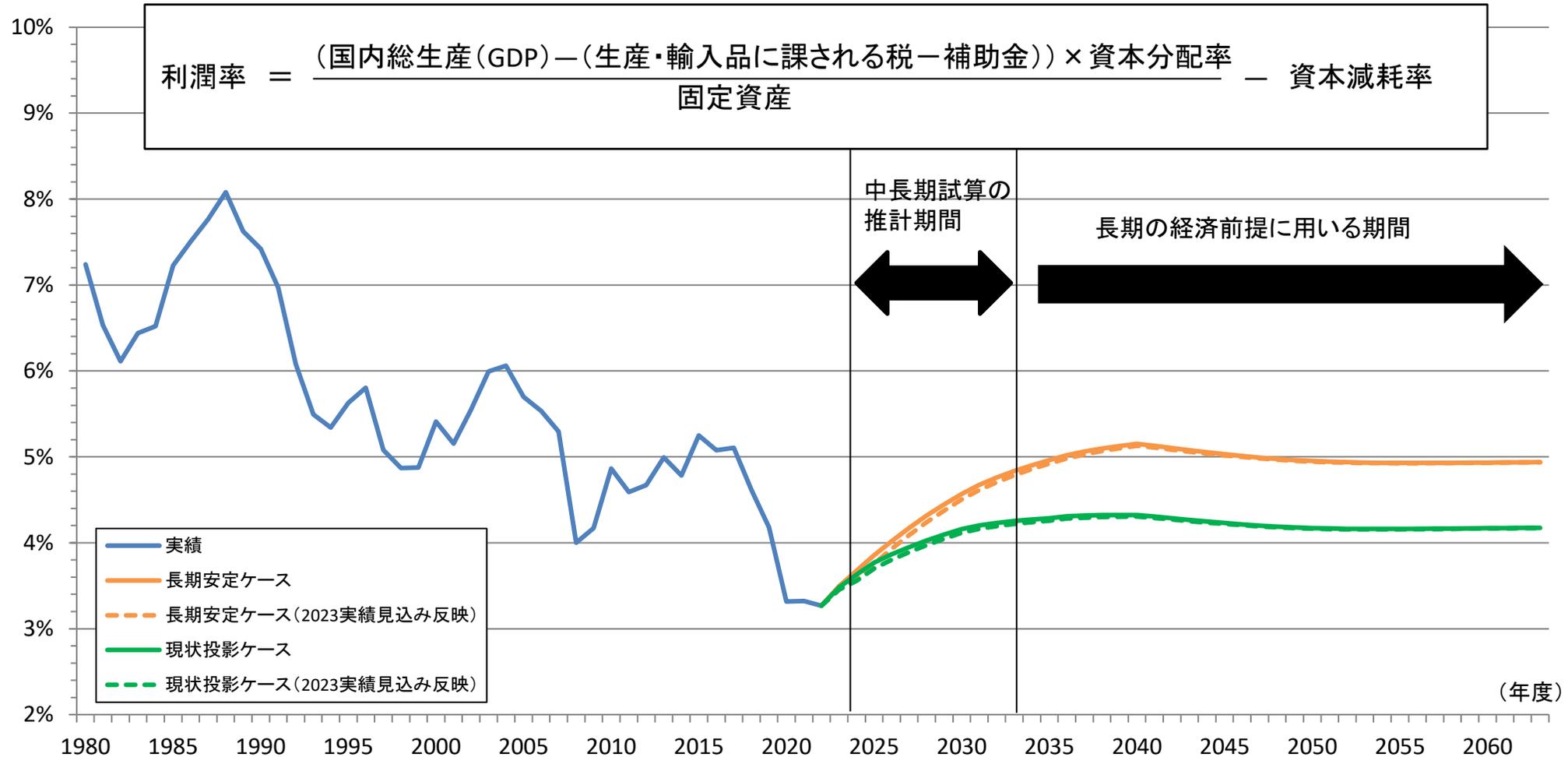
- 資本価格がGDPに比べ相対的に上がっているため、足下の利潤率の実績が低く、前年度の利潤率から計算される総投資率も低くなっている。
- 仮に現時点で把握可能なデータから総投資率などの2023年度の実績見込みを作成し、マクロ試算に反映したとしても、長期の経済前提に用いる10年後(2034年度～)の総投資率の推計結果は、ほとんど変わらない。



【資料】 実績は「2022年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)」(内閣府)より作成。1993年度以前の数値は、2019年財政検証時と同様の手法で遡及推計したもの。2023年度以降は「長期安定ケース」及び「現状投影ケース」を前提として推計したもの。

利潤率の推移

- 利潤率についても、現時点で把握可能なデータから総投資率などの2023年度の実績見込みを作成し、マクロ試算に反映したとしても、長期の経済前提に用いる10年後(2034年度～)の推計結果は、ほとんど変わらない。



【資料】 実績は「2022年度国民経済計算(2015年基準・2008SNA)」(内閣府)より作成。1993年度以前の数値は、2019年財政検証時と同様の手法で遡及推計したもの。2023年度以降は「長期安定ケース」及び「現状投影ケース」を前提として推計したもの。